

神戸大学大学院 実習船「白鷗」の体験乗船会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会等を「船ってサイコ〜」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、神戸大学大学院のご協力のもと、8月3日（土）に実習船「白鷗」の体験乗船会を開催し、一般公募により当選した約20名の小学生の親子等の参加がありました。

当日は神戸港を航行し、荷役中の巨大なコンテナ船やばら積み船といった様々な船舶を間近で見ながら、同大学院廣野准教授よりそれぞれの船の特徴や役割のほか、コンテナからは衣類や食料品など、ばら積み船はうどんやラーメンの原料となる小麦が積みされているなど、生活必需品のほとんどは船によって運ばれてくること、日本の貿易量の99%以上は船が運んでいることなどの説明をしました。



さらに、藤本准教授のサポートの下で操船体験も行い、子供たちは大喜びでチャレンジするなど、実際の船に直接触れ、操船の難しさ・楽しさを実感されている様子でした。参加者からは、「港や船の解説があって知識が増えた」「コンテナ船を見学できたことが印象に残った」「後進の育成のためにもぜひイベントを続けてほしい」などのコメントが寄せられ、海から見た普段とは異なる神戸港の姿を通して、船や海運についての理解を深める機会を提供することができました。

当協会は引き続き、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

